

経営比較分析表（令和3年度決算）

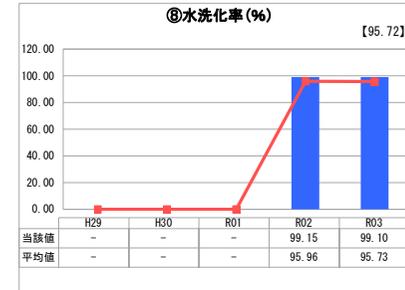
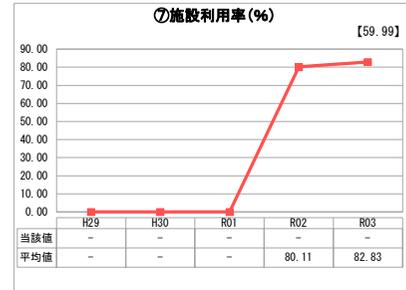
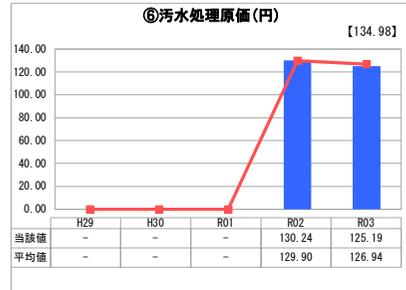
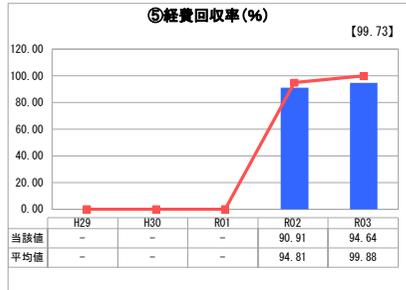
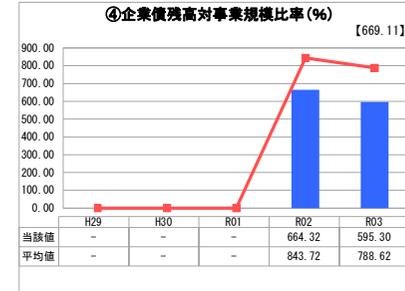
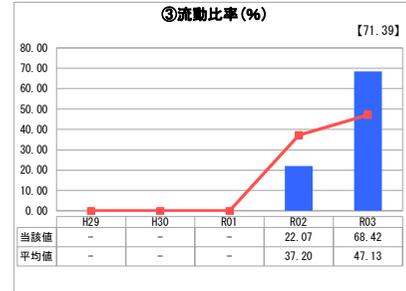
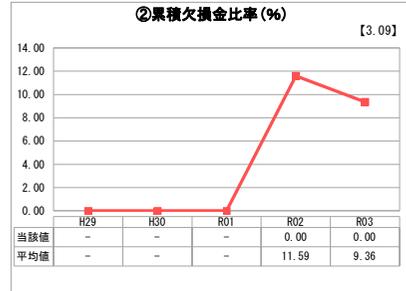
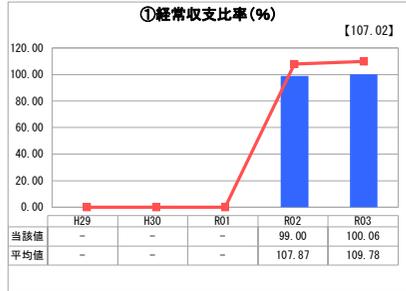
京都府 向日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	46.84	100.01	80.10	2,266

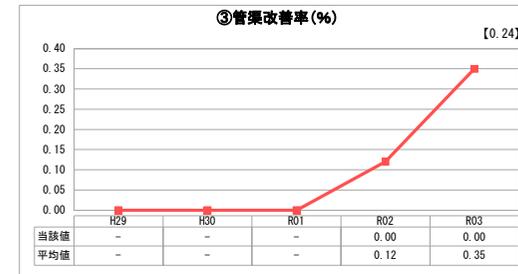
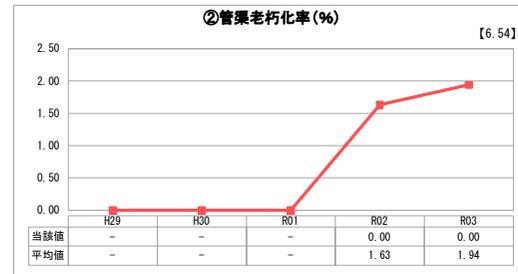
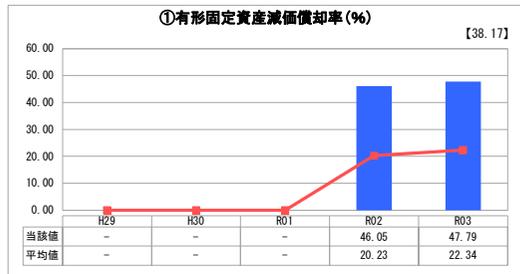
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,116	7.72	7,398.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
56,773	6.52	8,707.52

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 収益的収支比率
経常収支比率は100%に近い値で推移していますが、使用料収入の不足分を一般会計繰入金によって賄っています。

③ 流動比率
未払金に充当するための財源を年度内に収入していることから、年度末時点の現金が増え、流動比率が高くなっています。

④ 企業債残高対事業規模比率
本市の汚水整備事業が概ね完了していることから、工事費の財源である企業債の新規借入を行うことが少ないため、減少していく見込みです。

⑤ 経費回収率
汚水処理費の一部を一般会計繰入金によって賄っているため、100%を下回っています。適正な経費回収のため、経営管理の向上が必要です。

⑥ 汚水処理原価
汚水処理費が高くなる分流水下水道を採用しています。類似団体とほぼ同水準となっています。

⑧ 水洗化率
早くから水洗化を進め、汚水事業整備が平成12年に完了したことから、ほぼ100%となっています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
概ね資産全体の半分程度償却が進んでいる状況です。

② 管渠老朽化率
昭和49年から整備に着手したため、耐用年数50年に達している老朽管はありません。現在、予防保全型の維持管理を行い、下水道管渠の長寿命化に取り組んでいます。

全体総括

支出の大部分を占める企業債償還金は減少傾向にあります。使用料収入では支出全体を賄いきれず、一般会計からの繰入金に依存する状況は今後も続く見込みです。今後も正確な経営状況の把握に努め、安定的な下水道事業運営を行うための適切な経営管理を行います。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。